

令和7年度一般選抜A個別方式（第2期）出題意図

科目名：英語

- I. 慣用句を文脈の中で出題し，高校卒業レベルの英語力を持っているか，または大学中級程度のより高度な語彙知識を持っているかを問う問題である。
- II. コロケーションも含めた語彙を文脈の中で出題し，高校卒業レベルの英語力を持っているか，または大学中級程度のより高度な語彙知識を持っているかを問う問題である。
- III. 高校卒業レベルの統語力（文構造の理解）を問うており，添えられた日本語の文を正しく表現することが重要となる。設問 12 では否定語+so 原級 as の比較表現，設問 13 では過去から現在の経過を表す表現，設問 14 では “propose” の後に続く形や that 節内の should が省略可能であると知っているかを問うている。
- IV. 自然な会話の流れを追う力を問う問題である。正解は文単位の理解ではなく，文脈全体の把握に基づいている。この会話では，ビデオゲームをプレイする人々の間でリアルタイムに行われる交渉を理解する必要があり，全体の状況を視覚的にイメージする力が求められる。
- V. 長文読解における文脈内の意味理解力を問う問題である。全体的な理解力，推論力，そして局所的な理解力が問われている。今回のテーマはビジネスに関するもので，「比較と対比」の理解が重視される内容となっている。問題は単語や単文からだけでは解けないものとなっている。
- VI. 短めの読解文における文脈内の意味理解力を問う問題である。テキスト内の重要な語彙的手がかり（転換語など）を通して理解する力が求められている。今回のテーマは「因果関係」と「比較と対比」が組み合わさった内容となっている。
- VII. 文法力を問う問題である。設問 33 では if 節内の正しい動詞の時制，設問 34 では複数の形容詞の語順，設問 35 では限定詞 “both” の用法，設問 36 では近い未来の予測における “be going to” の用法，設問 37 では “be of no” に続く品詞を問うている。